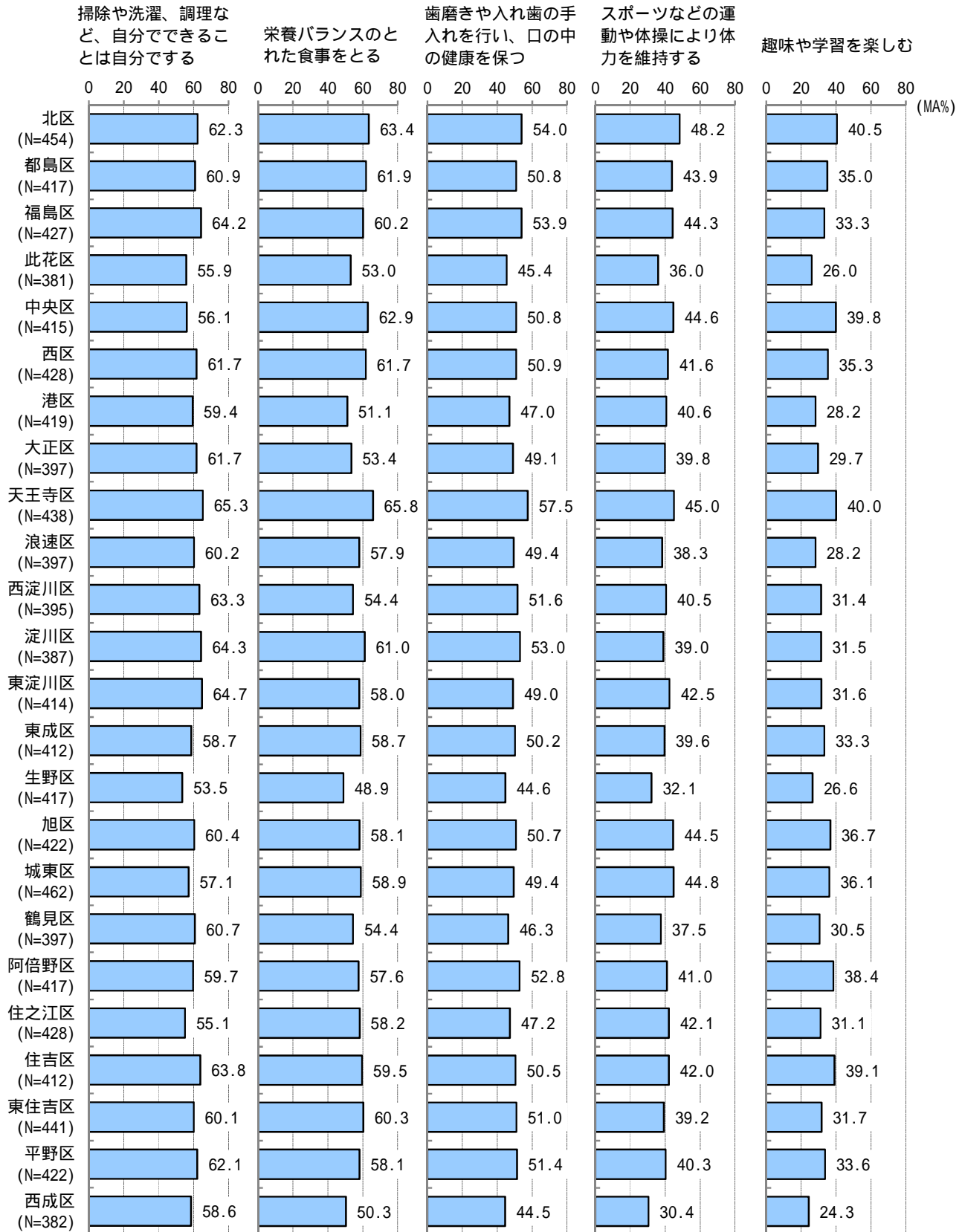
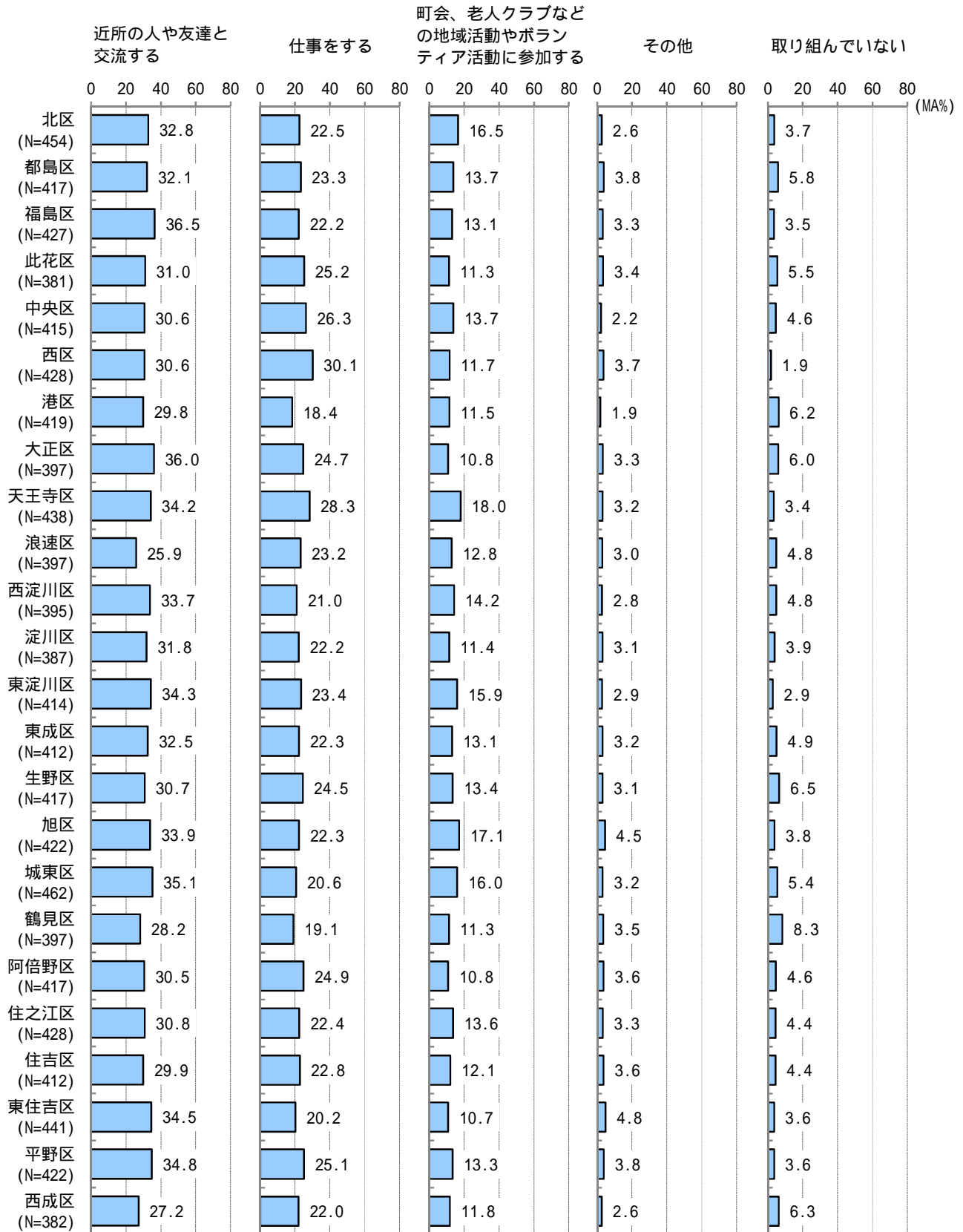


居住区別でみると、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」、「栄養バランスのとれた食事をとる」、「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」の回答割合は、天王寺区で最も高くなっている。此花区と生野区については、いずれの項目についても概ね割合が低い傾向にある。(図8-b)

【図8-b 介護予防のための取組み(居住区別)】

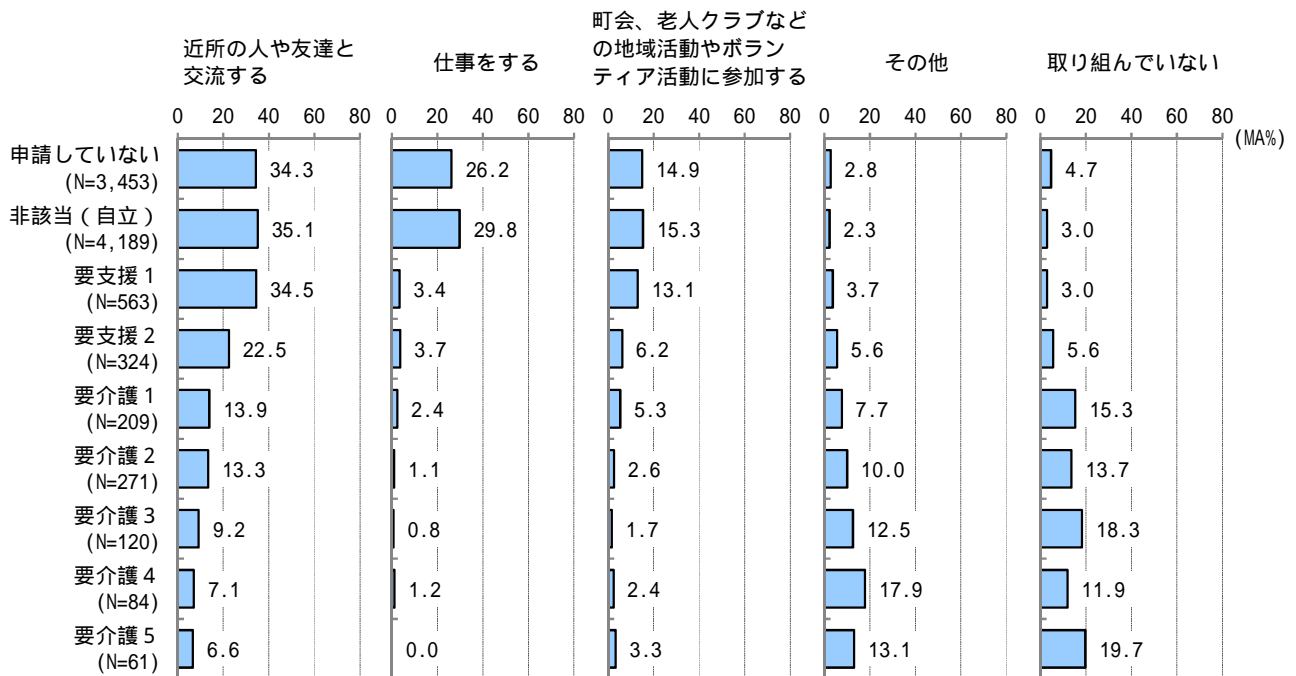
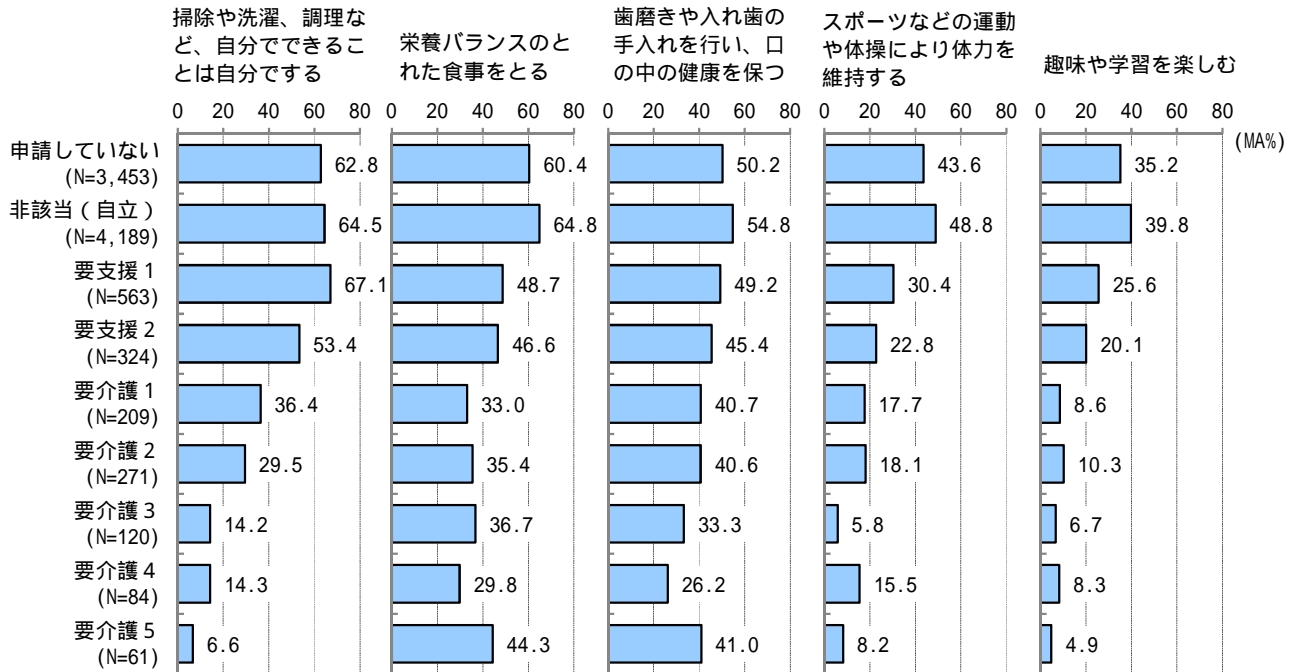


【図8-b 介護予防のための取組み（居住区別）】



介護度別でみると、「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」、「趣味や学習を楽しむ」、「近所の人や友達と交流する」の回答割合は、重度になるほど低くなっている。  
(図8-c)

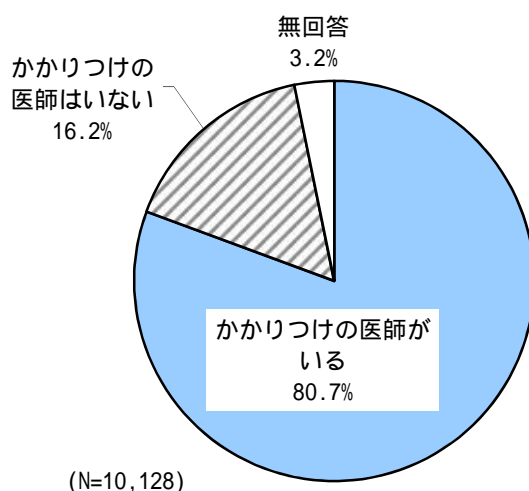
【図8-c 介護予防のための取組み（介護度別）】



問9 かかりつけの医師の有無

あなたには、かかりつけの医師はおられますか。( はひとつ)

【図9 かかりつけの医師の有無】

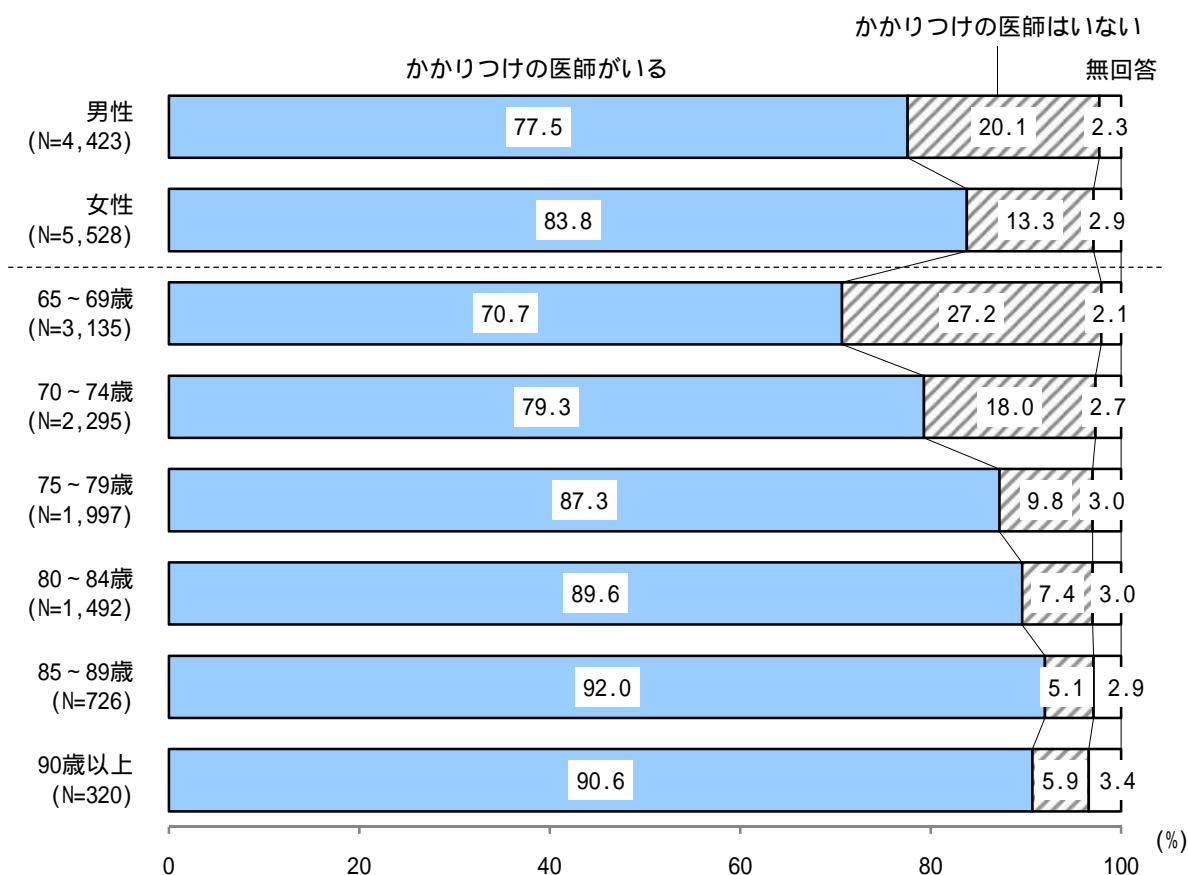


かかりつけの医師の有無については、「かかりつけの医師がいる」が80.7%に対し、「かかりつけの医師はいない」は16.2%となっている。(図9)

性別でみると、「かかりつけの医師がいる」の回答割合は女性の方が高くなっている。

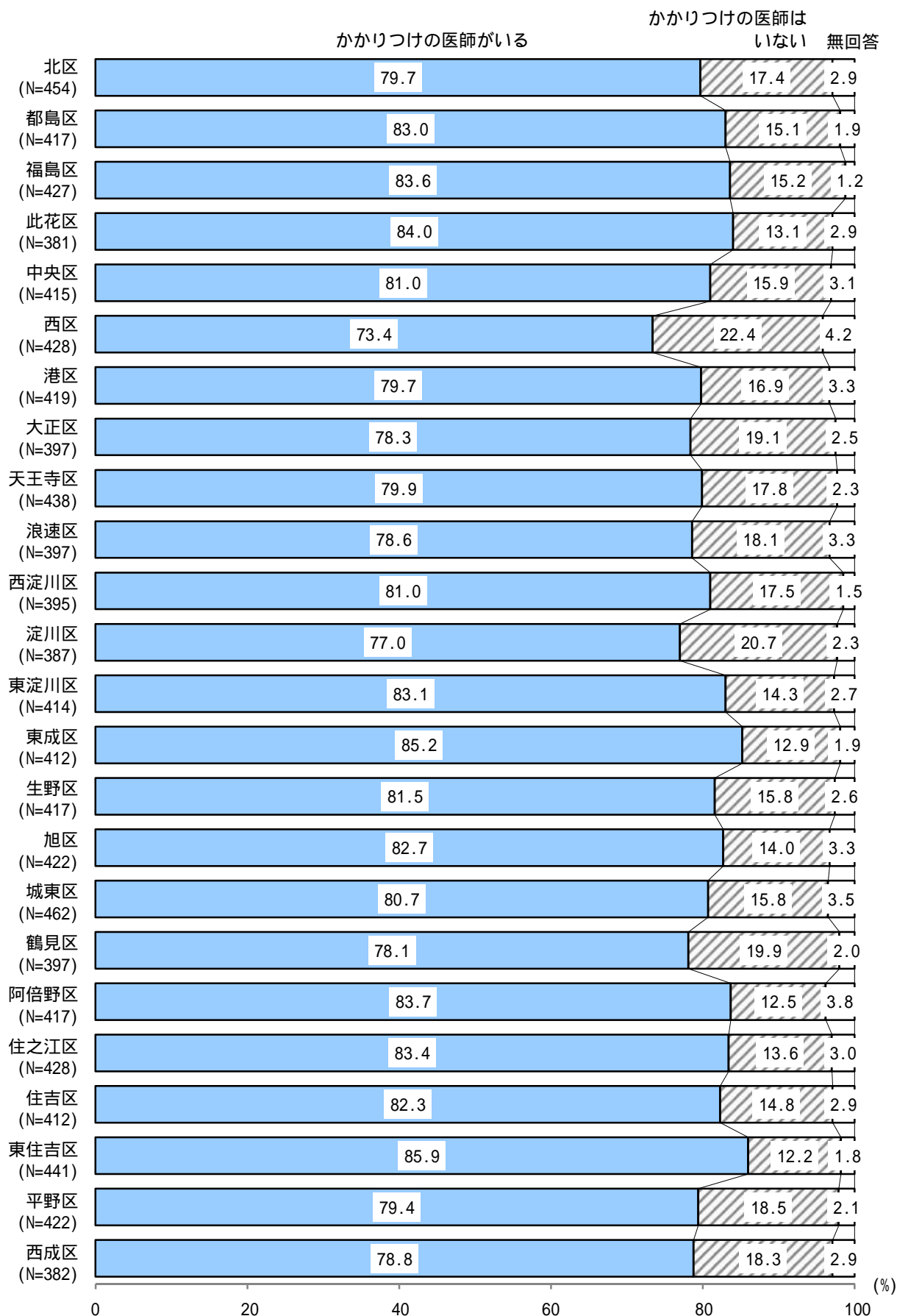
年齢別でみると、「かかりつけの医師がいる」の回答割合は年齢が上がるほど高くなり、85～89歳が92.0%で最も高くなっている。(図9-a)

【図9-a かかりつけの医師の有無(性別・年齢別)】



居住区別でみると、「かかりつけの医師がいる」の回答割合は、東住吉区が85.9%で最も高く、西区が73.4%で最も低くなっている。(図9-b)

【図9-b かかりつけの医師の有無(居住別)】

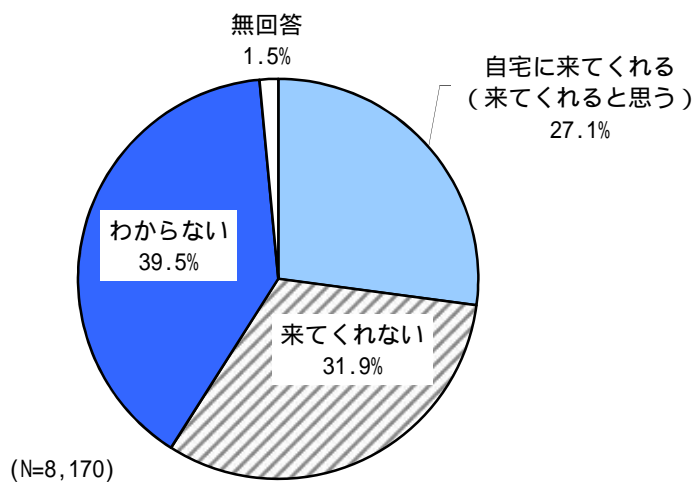


問9-1 通院出来なくなった場合の医師による訪問診療

【問9で「1」と回答された方におうかがいします。】

かかりつけの医師はあなたが通院出来なくなった時に自宅に来てくれますか。( はひとつ)

【図9-1 通院出来なくなった場合の医師による訪問診療】

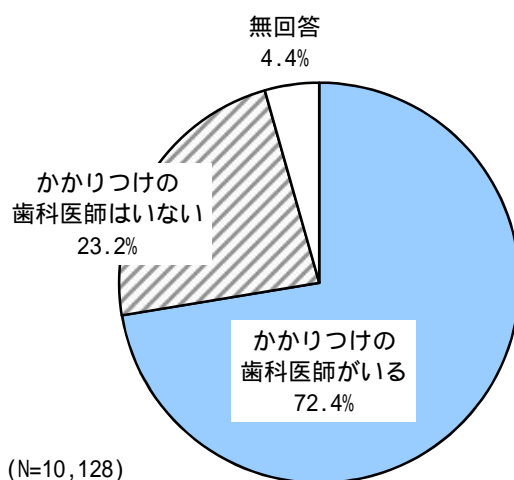


かかりつけの医師がいると回答した方に、通院出来なくなった場合の医師による訪問診療についてたずねると、「わからない」が39.5%で最も多く、「来てくれない」が31.9%、「自宅に来てくれる (来てくれると思う)」が27.1%となっている。(図9-1)

問10 かかりつけの歯科医師の有無

あなたには、かかりつけの歯科医師はおられますか。( はひとつ)

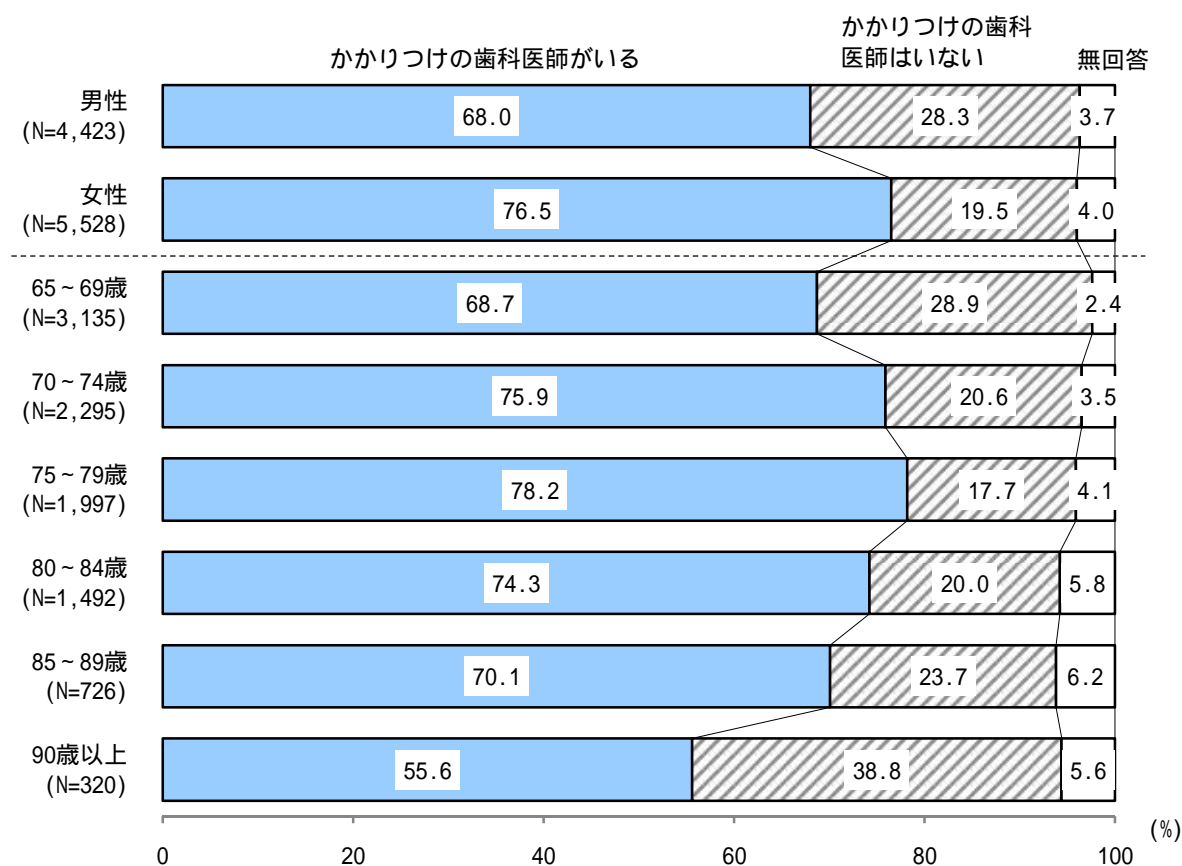
【図10 かかりつけの歯科医師の有無】



かかりつけの歯科医師の有無については、「かかりつけの歯科医師がいる」が72.4%に対し、「かかりつけの歯科医師はいない」が23.2%となっている。(図10)

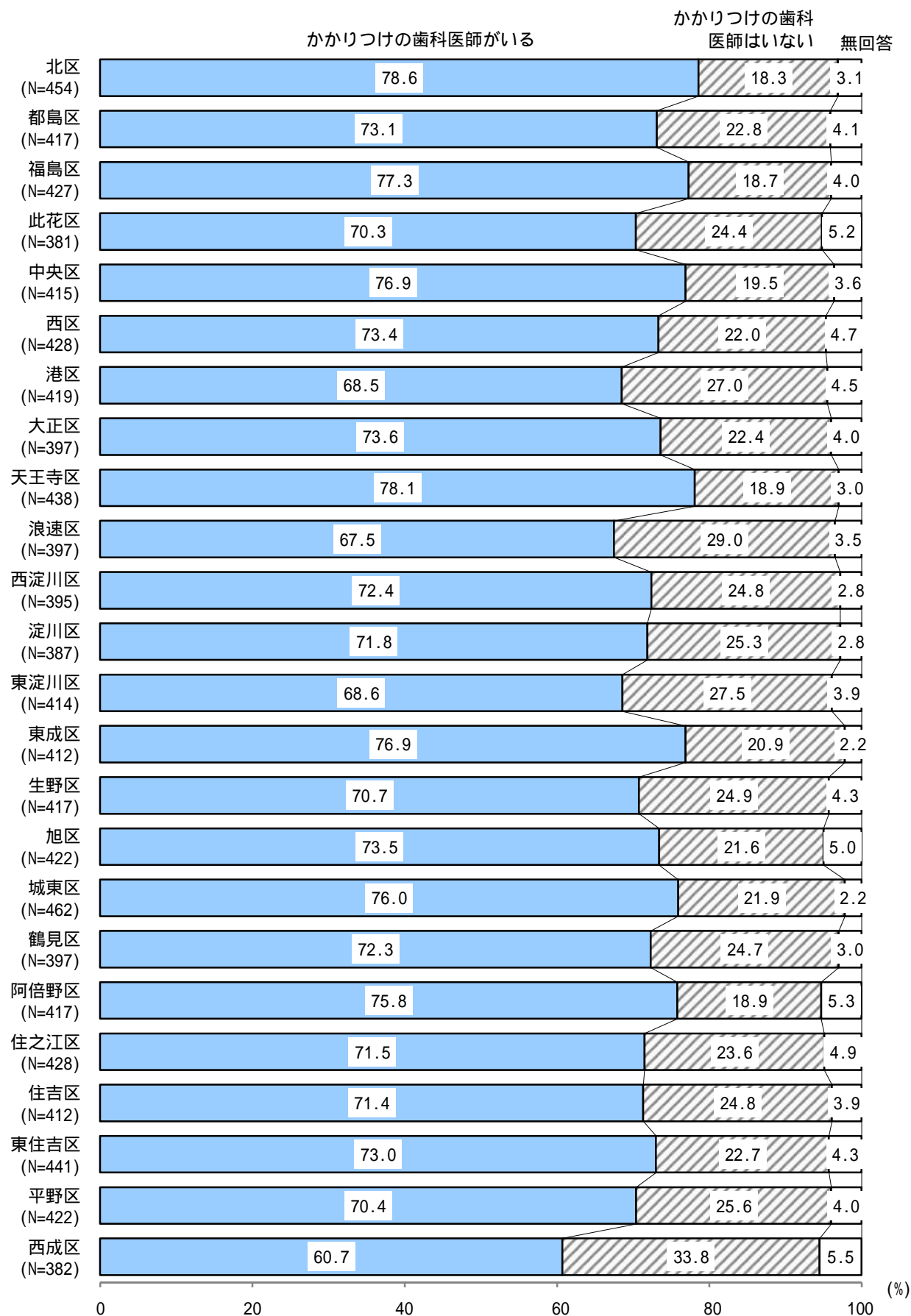
性別で見ると、「かかりつけの歯科医師がいる」の回答割合は女性の方が高くなっている。年齢別で見ると、「かかりつけの歯科医師がいる」の回答割合は75～79歳が78.2%で最も高くなっている。(図10-a)

【図10-a かかりつけの歯科医師の有無(性別・年齢別)】



居住区別でみると、「かかりつけの歯科医師がいる」の回答割合は、北区が78.6%で最も高く、西成区が60.7%で最も低くなっている。(図10-b)

【図10-b かかりつけの歯科医師の有無(居住区別)】



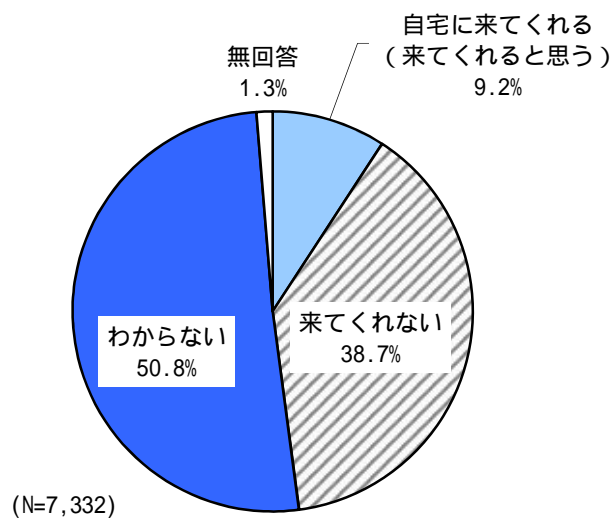


問10-1 通院出来なくなった場合の歯科医師による訪問診療

【問10で「1」と回答された方におうかがいします。】

かかりつけの歯科医師はあなたが通院出来なくなった時に自宅に来てくれますか。( はひとつ)

【図10-1 通院出来なくなった場合の歯科医師による訪問診療】

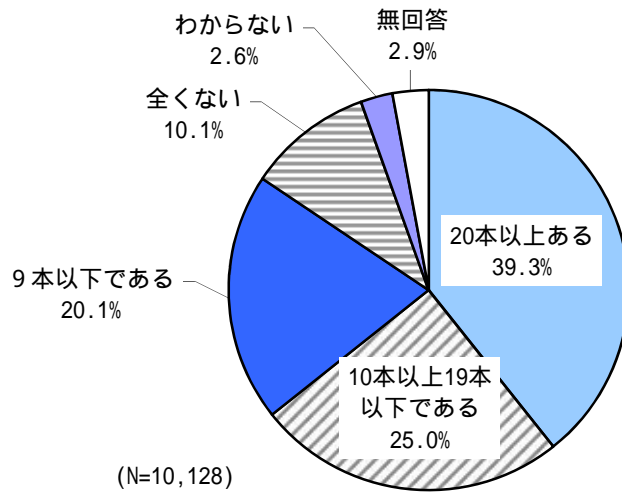


かかりつけの歯科医師がいると回答された方に、通院出来なくなった場合の歯科医師による訪問診療についてたずねると、「わからない」が50.8%で最も多く、次いで「来てくれない」(38.7%)、「自宅に来てくれる(来てくれると思う)」(9.2%)となっている。(図10-1)

問11 歯の本数

あなたご自身の歯（根っこのある歯）は、どの程度ありますか。（ はひとつ）

【図11 歯の本数】

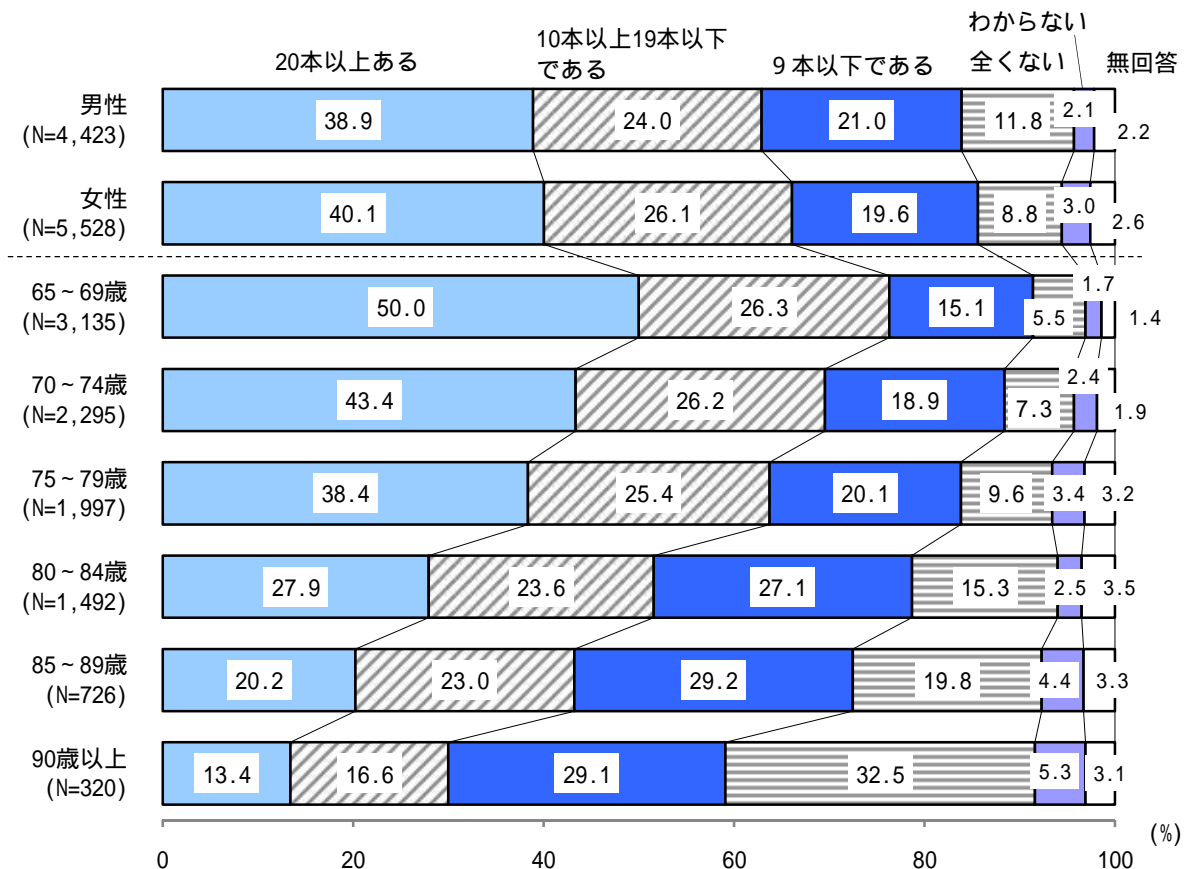


歯の本数については、「20本以上ある」は39.3%で最も多く、次いで「10本以上19本以下である」が25.0%、「9本以下である」は20.1%となっている。（図11）

性別でみると、女性の方がやや歯の本数が多い傾向がみられる。

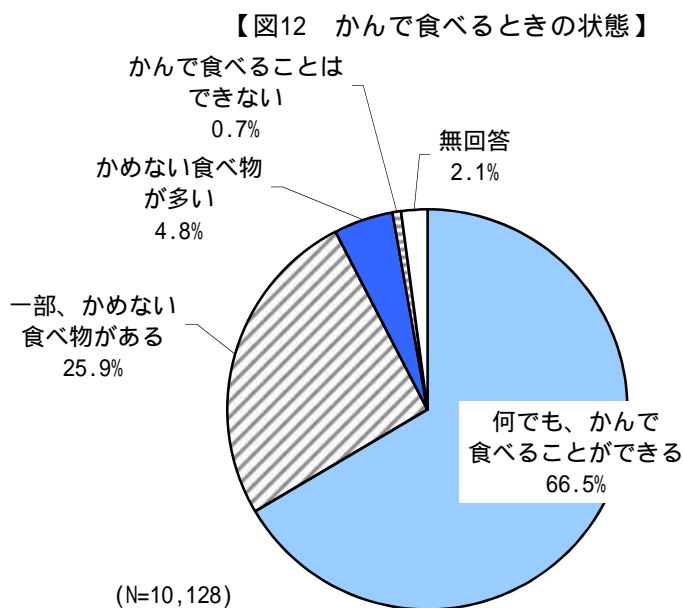
年齢別では、高齢になるほど歯の本数が減っていることがみられる。また、80歳以上で20本以上の歯を維持できているのは、80歳～84歳で27.9%、85～89歳で20.2%、90歳以上で13.4%となっている。（図11-a）

【図11-a 歯の本数（性別・年齢別）】



問12 かねで食べる時の状態

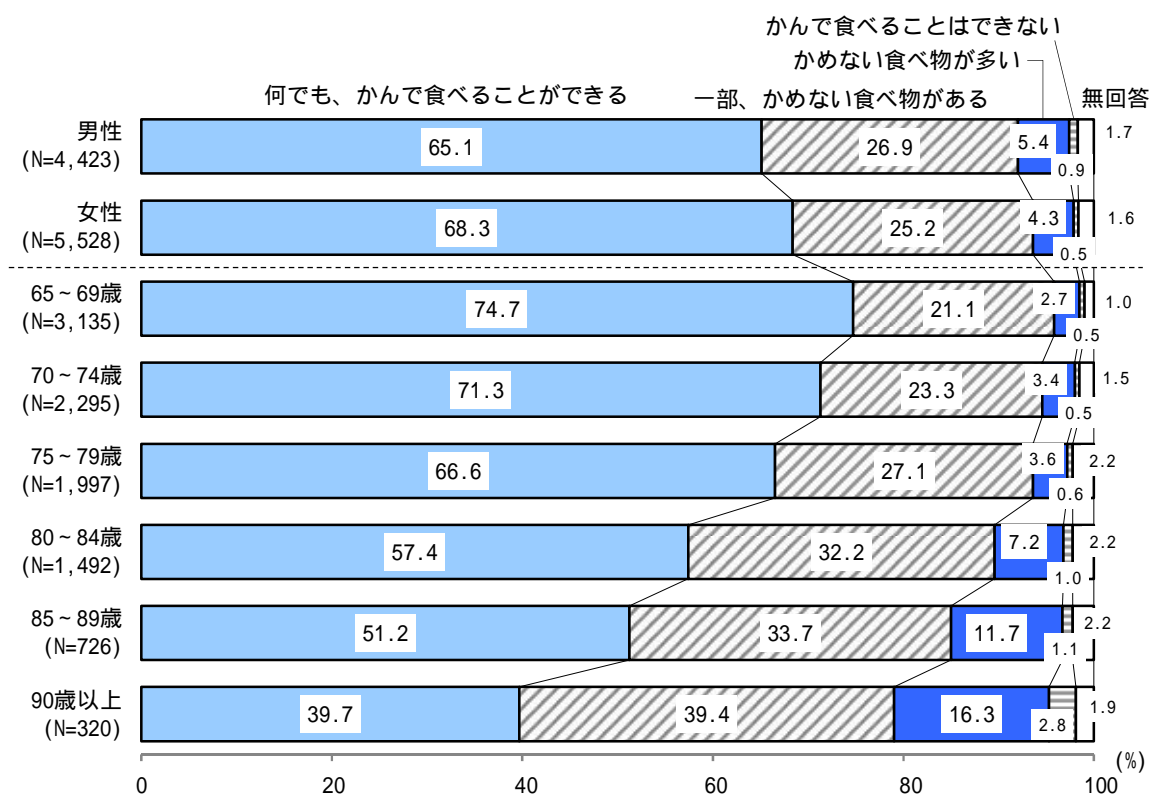
あなたがかんで食べる時の状態は、次のどれにあてはまりますか。( はひとつ)



かねで食べる時の状態については、「何でも、かねで食べることができる」が66.5%と最も多く、「一部、かめない食べ物がある」(25.9%)、「かめない食べ物が多い」(4.8%)と続く。(図12)

性別で見ると、女性の方が比較的良好な口腔機能を維持しているとの結果となっている。年齢別では、高齢になるほど「何でも、かねで食べることができる」との回答は少なくなるが、90歳以上でも「一部、かめない食べ物がある」の割合が高い。また、8割近くの方は、かねで食べることができるとの回答となっている。(図12-a)

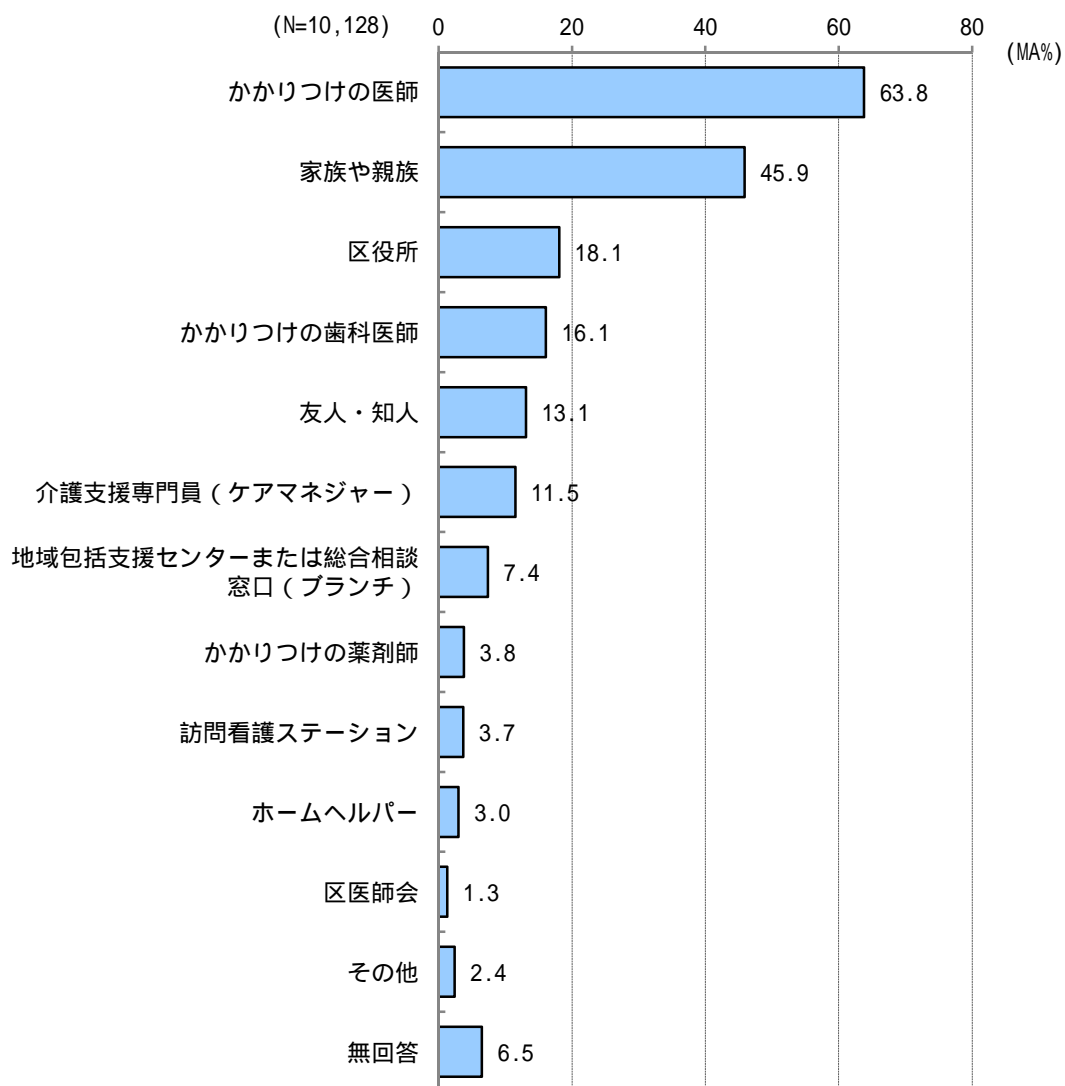
【図12-a かねで食べる時の状態(性別・年齢別)】



### 問13 医療の相談先

在宅で生活をしていて医療が必要になった時、どこに相談されますか？（はいくつでも）

【図13 医療の相談先】

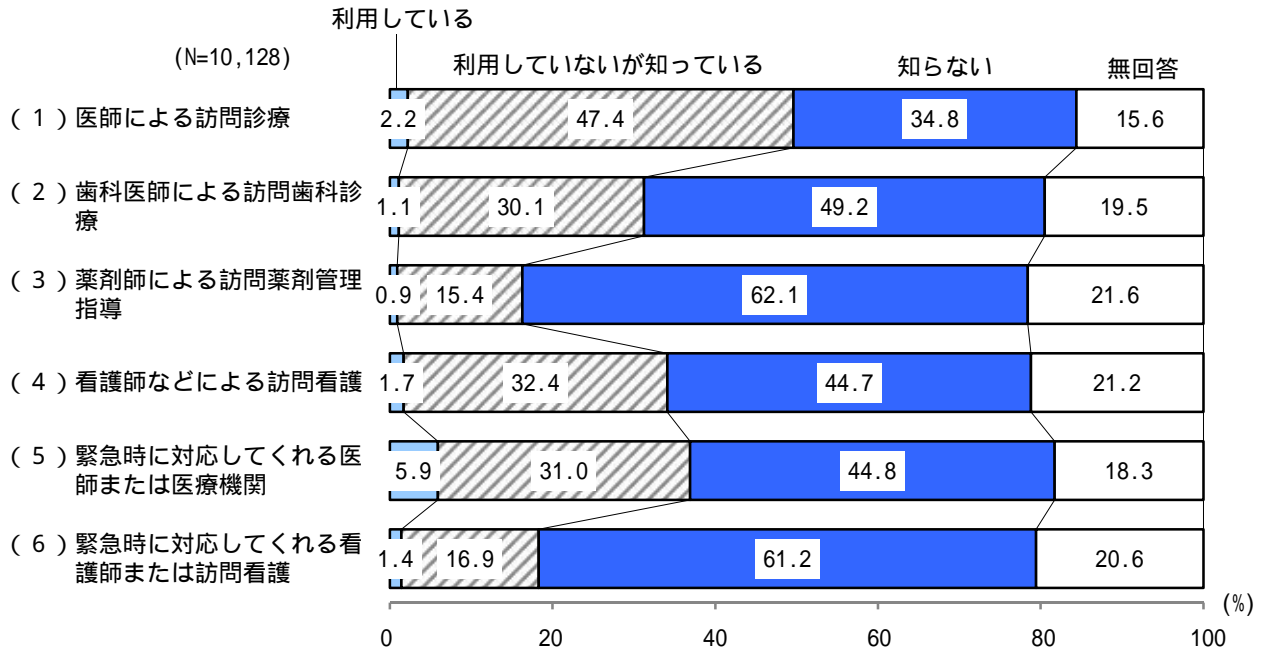


医療の相談先については、「かかりつけの医師」が63.8%で最も多く、次いで「家族や親族」（45.9%）、「区役所」（18.1%）が続いている。（図13）

問14 在宅で提供される医療

次の項目それぞれについて「利用している」「利用していないが知っている」「知らない」のいずれか該当するものを番号で選んでください。( はひとつずつ)

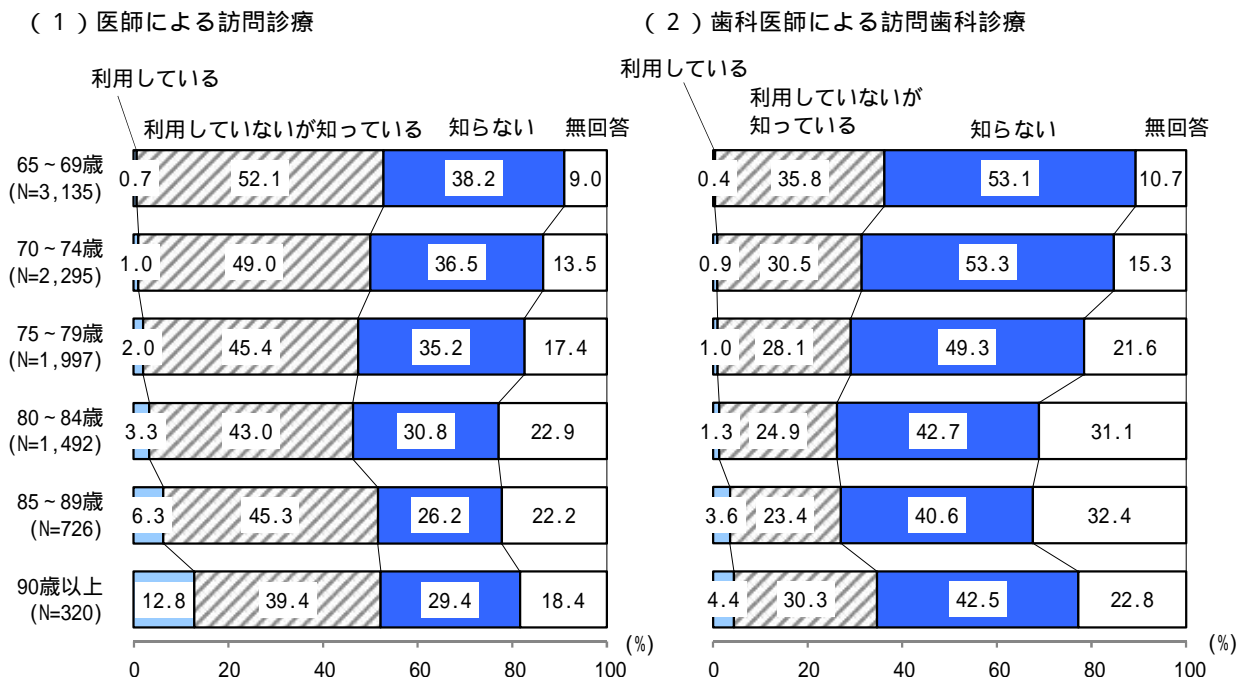
【図14 在宅で提供される医療】



在宅で提供される医療について、「利用している」の回答割合が最も高いのは“(5) 緊急時に対応してくれる医師または医療機関”(5.9%)で、「利用している」と「利用していないが知っている」をあわせた認知度は、“(1) 医師による訪問診療”が49.6%で最も高くなっている。(図14)

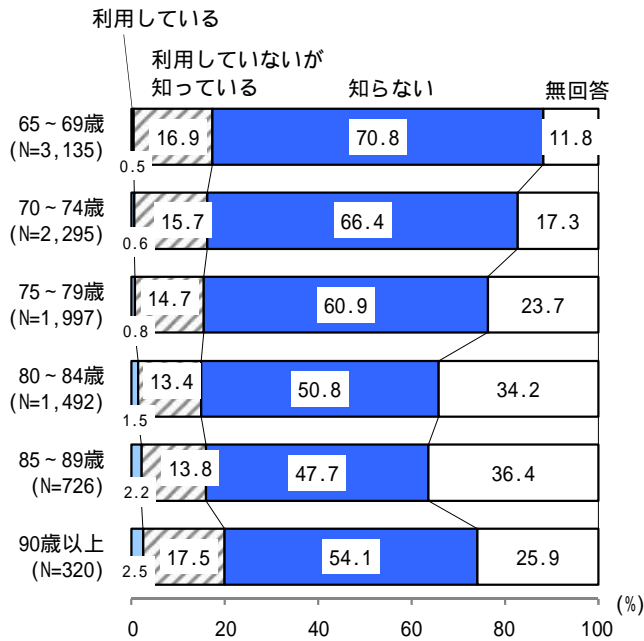
年齢別でみると、いずれの項目も高齢になるほど「利用している」の回答割合が高くなっている。(図14-a)

【図14-a 在宅で提供される医療(年齢別)】

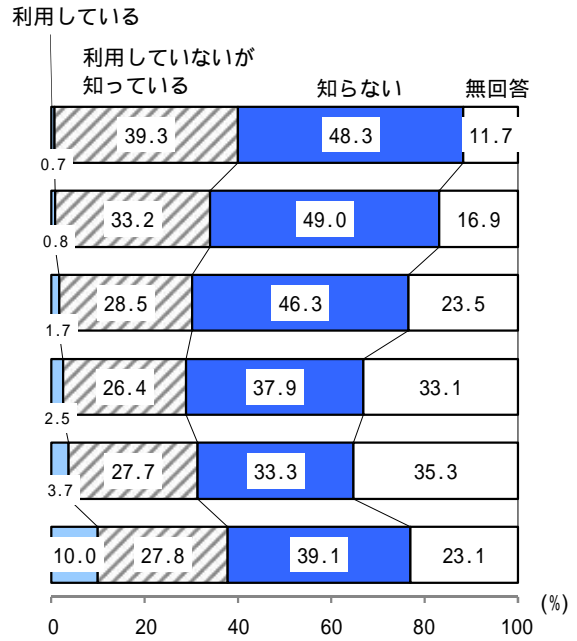


【図14-a 在宅で提供される医療（年齢別）】

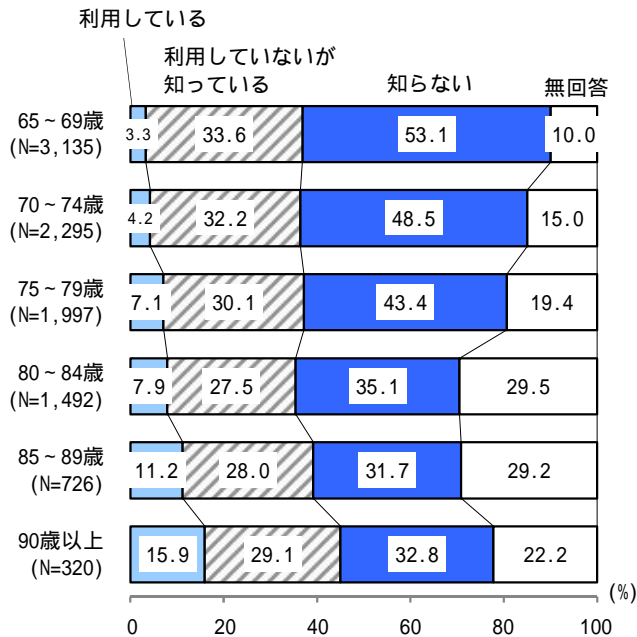
(3) 薬剤師による訪問薬剤管理指導



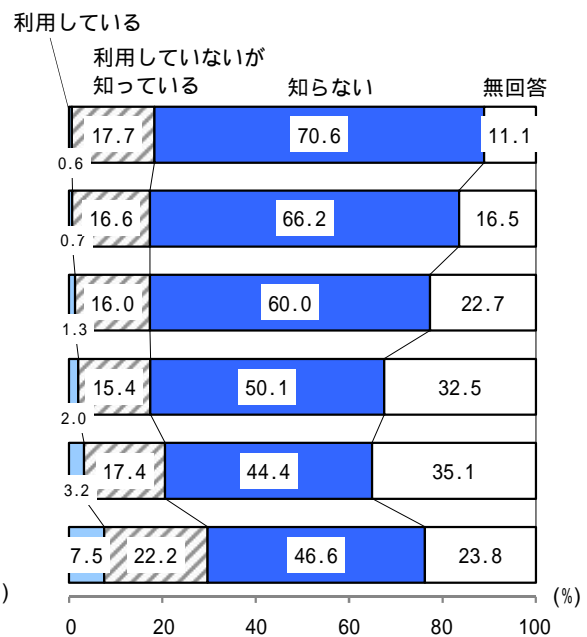
(4) 看護師などによる訪問看護



(5) 緊急時に対応してくれる医師または医療機関



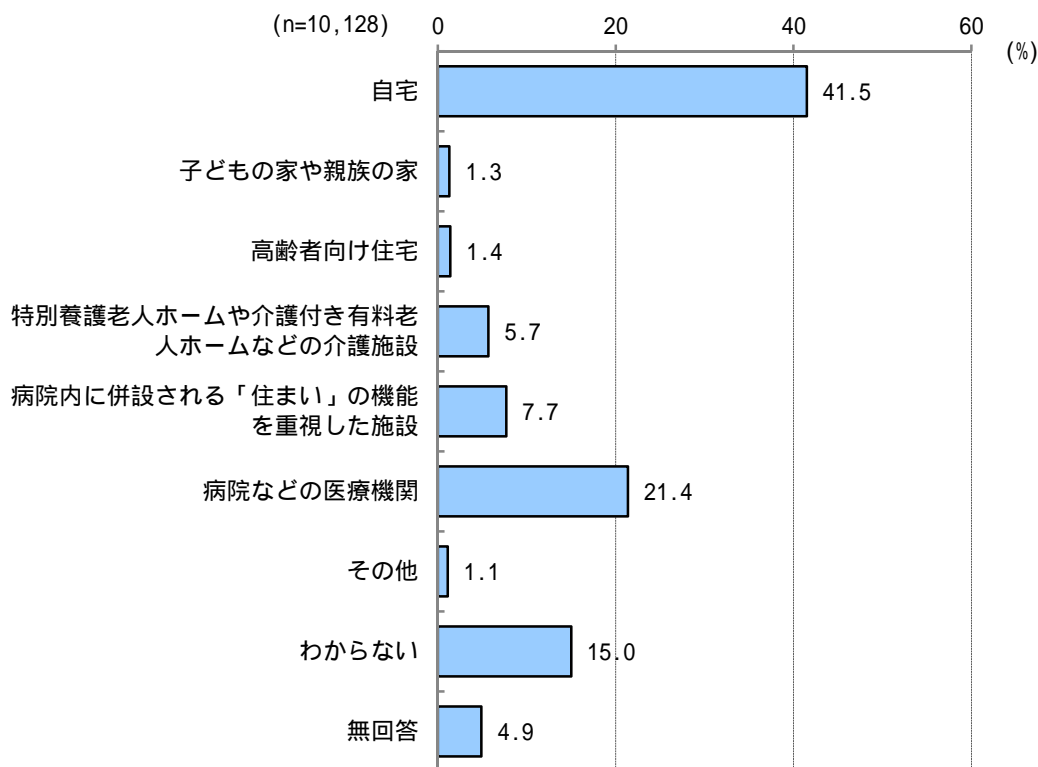
(6) 緊急時に対応してくれる看護師または訪問看護



問15 終末期に過ごしたい場所

万一、あなたが治る見込みのない病気になった場合、終末期（人生の最期）をどこで過ごしたいですか。なお、必要な医療については、それぞれの場所で受けることができるものとしてお答えください。（ はひとつ）

【図15 終末期に過ごしたい場所】



終末期に過ごしたい場所については、「自宅」が41.5%で最も多く、次いで「病院などの医療機関」(21.4%)、「病院内に併設される「住まい」の機能を重視した施設」(7.7%)が続いている。(図15)

性別でみると、「自宅」の回答割合は男性の方が高くなっている。

年齢別でみると、「自宅」の回答割合は高齢になるほど高く、「病院内に併設される「住まい」の機能を重視した施設」は高齢になるほど低くなっている。(図15-a)